

感染症情報 5月19日～25日

府下小児科186医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	1,447例(堺市	91例)
②伝染性紅斑	318例(堺市	18例)
③溶連菌感染症	311例(堺市	46例)
④咽頭結膜熱	174例(堺市	16例)
⑤突発性発疹	58例(堺市	1例)

府下292医療機関(堺市25)から

インフルエンザ	94例(堺市	6例)
---------	--------	-----

報告数による順位。前週比9.7%減の2,481件であった。感染性胃腸炎が府下で前週から16%減、堺市で前週89例→今回91例。伝染性紅斑が府下で2位となり、13%増、堺市で前週24例→今回18例であった。溶連菌感染症が府下で19%減、堺市で前週56例→今回46例。咽頭結膜熱が府下で26%増、堺市で前週12例→16例であった。

インフルエンザが府下で前週203例→今回94例は54%減。堺市は前週18例→今回6例であった。

全数把握疾患の百日咳は大阪府で82例→83例は1例増、堺市は2例→5例であった。今年に入ってから府内の累積報告数は1,276例となった。

府下292医療機関(堺市25)から

新型コロナウイルス感染症	212例(堺市	14例)	
大阪府定点	0.73	堺市定点	0.56

新型コロナウイルスの定点報告は、府下で16%減、定点当たり0.86→0.73。堺市で18例→14例、定点当たり0.72→0.56。

府下292医療機関(堺市25)から

急性呼吸器(ARI)感染症	11,001例(堺市	1,111例)	
大阪府定点	37.67	堺市定点	44.44

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より7.2%減、定点当たり40.58→37.67、堺市で前回より2%減、定点当たり45.56→44.44であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。